

# 第4回神奈川県特定施設研究大会

去る2月25日（金）に「第4回神奈川県特定施設研究大会」を開催いたしました。当日は、特定施設だけでなく、いろいろな介護関係の施設や事業所にお勤めの方や、出展企業の方など260名の方が大会会場に集まり、大いに盛り上がりました。

大会テーマ：いつも笑顔でいてほしいから・・・

日時：平成23年2月25日（金） 10:20～16:30

場所：神奈川大学16号館 セレストホール

## ◆開会式

主催者あいさつ

（社）かながわ福祉サービス振興会 専務理事 瀬戸 恒彦



## ◆基調講演 「笑いと免疫力」

◎吉野 慎一 氏（医師、日本医科大学名誉教授）



「楽しい笑いの臨床実験」を通じて笑うと免疫力の関係を医学的に立証された吉野先生。「深い睡眠」「楽しい笑い」「泣くこと」「楽しいことに熱中すること」などで頭の働きを無にする（脳内リセット）ことによって、ストレスを軽減し、病状を悪化を防ぎ「自然治癒力」も増強するということです。

ストレス社会と言われている昨今、「脳内リセット」のボタンを押して、少しでもストレスの解消を図っていききたいものです。

◎林家 木久蔵 氏（落語家）

テレビでもお馴染みの木久蔵師匠。冒頭から客席は笑いに包まれていきました。落語を通じて「笑いと健康」を実証され、老若男女に楽しんでもらえる落語は医学とリンクする仕事であると実感されたそうです。大いに笑って体の免疫力アップに繋げていきましょう。



## ◆研究発表 「いつも笑顔でいてほしいから・・・私たちにできること」

座長 神奈川県立保健福祉大学 名誉教授 谷口 政隆 氏



今大会には、26演題の応募があり、その中から選られ6演題について口頭発表をしていただきました。それぞれがチームケアを通じ、様々な工夫をこらした取組で、ご入居者に対する熱い思いが伝わってまいりました。各施設で参考となることも多くあると思います。プロとしての意識を保ち、今後の介護に活かしていただければと思います。



(発表演題)

1	～食べることの喜び(笑顔で楽しく食べて)～	工藤建設株式会社 フローレンスケア 横浜森の台
2	～静養室利用者のリロケーションダメージの軽減～ Aさんの事例を通して	財団法人シニアライフ振興財団 ヴィンテージ・ヴィラ横浜
3	その笑顔は本物ですか？ ～活動性の低下に対するの援助～	日総ニフティ株式会社 すいとぴー新横浜
4	とびらの向こうの笑顔の私 ～心身機能・生活機能向上に向けた取り組み～	株式会社ニチイケアパレス ニチイホーム元住吉
5	K様の帰宅願望などを通じて施設職員としてのあり方 を考える～心穏やかに安心した生活を送って いただくために～	工藤建設株式会社 フローレンスケア宿河原
6	～孫のためにできること (バージンロードとステンシル)～	株式会社ボンセジュール ボンセジュール荏田

### ◆特別講演 「特定施設を巡る制度の最新動向」

厚生労働省老健局 高齢者支援課 課長補佐 廣瀬 泉 氏

今後の特定施設を巡る制度の最新動向についてご提示いただきました。また、「地域包括ケアシステム」「高齢者住宅」「24時間地域巡回型訪問サービス」などにも言及し、今後の動向を把握するためにとっても有意義なご講演となりました。



### ◆表彰式

優秀賞 工藤建設株式会社 フローレンスケア宿河原 野中竜巳氏



「K様の帰宅願望などを通じて施設職員としてのあり方  
を考える  
～心穏やかに安心した生活を送っていただくために～」

「お客様を変えるのではなく、自分たちが変わらなくてはお  
客様も変わらない」と改めて考えさせられる、今回のテーマ  
に最もふさわしい研究内容として表彰されました。

◆来賓あいさつ 神奈川県議会議員 厚生常任委員会委員長 しきだ博昭氏

◆閉会式 神奈川県特定施設研究大会実行委員長 吉野 潮氏

現在の裕福な日本を形成したご高齢者への敬意を決して忘れることなく、恩返しをするという  
意味からも、私達は今後さらに真摯に介護に取り組んでいかなければならないと考えます。  
介護業界全体が、熱意とプロ意識を持ち、さらなる発展となることを願います。

最後に、ご協力いただきました皆様やご参加いただきました皆様に感謝の気持ちと今後の  
ますますのご活躍を心より申し上げます。

今後とも、ご支援・ご参加等を賜りますようお願いいたします。



どうもありがとうございました。

